

東大教養学部主催「高校生のための金曜特別講座」について

講座の配信方法、および日程・一部内容が変更となりましたのでお知らせします。

1) 講座の配信方法の変更

・2020 年度夏学期の「高校生のための金曜特別講座」では、新型コロナウイルスの影響を踏まえ、「Zoom」というアプリを使用して生徒の皆さんが自宅で受講できるように配信されることとなりました。

・受講を希望する場合、メルポコで

①金曜講座に接続するための Zoom ウェビナー URL

②パスワード

③配布資料をダウンロードするための URL

を連絡しますので、各個人で受講をしてください。学校では開催しません。

※講義によっては、配布資料の送付が開講直前になったり、配布されなかったりすることもあります。

・受講方法

当日 17:00 過ぎに、生徒の皆さん自身の PC、スマートフォン、タブレット等で①の URL にアクセスし、下記のマニュアル内で指定された方法で名前（例：東大高1年 MA）とメールアドレスを入力することで、皆さん一人ひとりが自宅で受講できます。定員は 500 名（先着順）です。このシステムでは、メールアドレスを入力しないと参加できない仕様となっています。メールアドレスの情報は、生徒の皆さんからの質問に対してメールで返答せざるを得ない場合にのみ使用します。

※受講にあたっては、東京大学から示された「インターネット受講のための方法（高校生の皆様へ）」を必ず読んでください。

高校生向けマニュアル URL

<https://davm.ecc.u-tokyo.ac.jp/public/uch0wAGIMU8AfzAB80pxKJJ0dUBHQKwIwoVjKvISA56i>

2) 講座の日程・内容の変更

①4 月 24 日の講義は、冬学期へ延期となり、2020 年度夏学期の講座は、5 月 8 日からスタートします。

②5 月 8 日の講義内容の変更

予定されていた「意識の謎は数理で解き明かせるか？」の講義は冬学期へ延期となり、代わりに次の講義が行われます。

「ウイルス感染のメカニズムと薬の開発法」講師： 新井 宗仁（東京大学 教養学部 統合自然科学科・教授）

（講義概要）2019 年、中国の武漢で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の発生が確認された。これは SARS コロナウイルス-2（SARS-CoV-2）がヒトの細胞に感染して引き起こす急性呼吸器疾患である。世界的な大流行（パンデミック）によって感染者は 200 万人以上、死者は 13 万人以上にのぼり、現在日本では全国に緊急事態宣言が出されている。このような事態を収束させ、これまでの日常生活を取り戻すためには、ワクチンや治療薬の開発が急務である。ではウイルスの感染や増殖を阻止するような薬は、どのようにして開発されているのだろうか。これを理解するために、この講義ではまず、ウイルスがどのようなメカニズムでヒトの細胞に感染し、増殖するのかを解説する。次に、その仕組みに基づいて、さまざまな抗ウイルス薬がどのように設計・開発されるのかについて概観する。